

平成22年度第1回山口県県民活動審議会の概要

1 開催日時・場所

平成22年9月1日(水) 14:00~15:10 山口県庁共用第4会議室

2 出席者

委員 石丸委員、草平委員、下尾委員、杉野委員、高橋委員、樋口委員、
福森委員、山田委員、横田委員、吉村委員
※ 欠席委員：草田委員、中村委員
オブザーバー 財団法人やまぐち県民活動きらめき財団 久保副理事長
県(事務局) 吉崎環境生活部長、相島県民生活課長、北本県民活動推進班長、
県民活動推進班 秋本主査、廣中主任、木村主任
やまぐち県民活動支援センター 伊藤センター長

3 概要

(1) 会議概要

・会長・副会長の選任について

委員の総意により、樋口委員が会長に、草平委員が副会長に選出された。

・平成22年版県民活動白書について

事務局の説明後、委員から意見・質問があり、表現の一部修正や来年度の白書作成に向けた設問のあり方、集計方法について、再検討することとなった。

(2) 主な意見

・意見交換～県民活動の促進について～

① 県民活動団体の持続可能な運営について

○ 新規会員の獲得やスタッフの高齢化の課題については、団体そのものが認知されていないのではないかと。

人員の獲得に関しては、より一層団体のPRに努める必要がある。

○ 煩雑な申請書類の作成に長けた人材を紹介したり、団体側が望む人材と活動に興味を持つ人とをコーディネートする人材バンクのような仕組みがあれば良い。

○ 助成金がなくても活動を続けることができるよう、会費のような固定収入を確保するほか、寄付などの支援を行うことが心地良いと思えるような空気をつくってほしいと思う。

○ 団体の存続を考えるより、新しい団体がどんどん生まれてくれば良いし、そのような仕掛けを考えてはどうか。

② 県民活動団体の交流促進に向けて

- 大きな行事を企画して、皆さんが集まって意見を述べて、解散するというスタイルでなくても、同じ悩みや同じ課題を抱えている人と意見交換する場ができれば良い。

③ ボランティア活動の参加促進に向けて

- ボランティア活動を行った県民の割合が低いのは、個人の活動が反映されていないなど、数字の取り方によるのではないか。
- ボランティアに参加したい人は多勢いるのに、どこで、どんな活動をしているのか、わからない。広報して情報発信する必要がある。
- 社会人はボランティア活動に参加するのが当然、という普及啓発を行ってみてはいかがか。
- 企業に対して、ボランティア活動を理解することが最終的には企業の利益にもつながることをアピールするなど、休日には、ボランティア活動をするのが当然という風土をつくる取組を提案する。